



小田野中央公園 ニュースレター

第 5 号

編集発行/小田野中央公園をつくる会事務局(八王子福祉園内 担当 芝敏子)八王子市西寺方町 76 電話 0426-51-9410
八王子市まちなみ整備部公園課ホームページ <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/machinami/kouen/parktop.htm>

2006.1.10 市民と八王子市との協働で公園をつくるための パートナーシップ協定を結びました

平成 18 年 1 月 10 日に小田野中央公園をつくる会と八王子市は、協働で公園をつくるための協定を結びました。この協定は八王子市で初の取り組みです。

つくる会は、地域の状況や多くの世代の創意をまとめて誰にでも親しめるような公園計画づくりや手作業などを行ない、八王子市は、公園の基盤整備や必要経費を負担することを、この協定で明確に取り決めています。

この公園づくりの取り組みは、八王子市が目指す「市民と行政との協働のまちづくり」の見本となる活動として期待されています。みなさんの意見や力仕事は将来の憩いの場として多くの人に親しまれ永遠に残ります。今後、桜並木や子供遊び場、公園シンボル作りなどの作業が続きます。平成 19 年度での完成を目指し、みなさんの智恵や力を合わせて公園作りを進めていきたいと思っていますので、是非、気軽に参加してください。(小田野中央公園をつくる会 会長 船引孝昭)



地域の人が主体でつくと
使いやすい楽しい公園
になるね。

自分達でつくと
愛着が湧く
ね。



元木小学校 3 年生が総合学習で夢の公園づくり



は、平成 17 年の 9 月から総合学習の時間を利用して小田野中央公園づくりに関わっています。「地域の人々とともに公園をつくらう」という命題のもと、子供達の「夢の公園プラン」をつくる作業を始めました。最初は子どもたちだけが楽しめるプランだったのですが、地域の人々が楽しく使えるにはどうすればよいか、実際に実現可能なものなのかなどを検証するために、地域の保育園、学童保育所、元木小学校の他学年の児童、父兄、祖父母、ご近所の方々にアンケートをとって、より具体的に地域の人が必要としている公園像を把握しました。それらをふまえて、新たに遊具やシンボルの構想を絵や

模型で作成しました。

平成 18 年 2 月 13 日に公開授業が行われ、3 年 2 組の児童が、公園づくりの結果を地域のみなさんや、他校の先生方の前で 6 つのグループに別れて発表しました。夕方になると《夕焼けこやけ》の曲が流れる日時計や、さくらんぼトランポリン、ゆかいなアスレチックパーク、ローラー滑り台、動物の背もたれが付いたブランコ、幸せの噴水など、独創的なデザインのものばかり。使い方のルールや、具体的な大きさ、材料に至るまで子供達が苦労して考えた成果です。こども達の案が一つでも公園で実

現できることを願っております。

(八王子市立元木小学校教諭 窪田)



2005.12.3 市民と八王子市の協働による公園づくり 第4回ワークショップ

みんなでつくろう！小田野中央公園 報告



12月の寒い一日、地域の方々が59名集まり、公園づくりをおこないました。

まず公園のベンチ塗り。恩方の木材を使い、夕やけ小やけふれあいの里で作成されたベンチに、恩方中の生徒さんを中心とする地域の方が、保護塗料を塗りました。最初はなれない作業に戸惑っていた生徒さんたちも、次第に手際が良くなり、約2時間かけて7基のベンチを塗り終わりました。自然素材の保護塗料を使ったので、環境にも人体にも優しいベンチができました。



次に公園の枯葉集め。雑木林を育てるための手入れを体験しました。冬の下草刈の後、落葉を堆肥にしたり、ドングリの芽がでやすくなるために落葉を掃きました。大量の落葉が堆肥用のマスに集められ、『落ち葉の中で泳ぐと凄く温かい！』と子供達は歓声とともに落ち葉のプールに飛び込んでいました。



その後、この公園がカブトムシなどの生き物が住める豊かな林になるようにはどうすればよいかを子供達と話しあいました。最後に、カブトムシの幼虫が子どもたちに配られました。作業の後は豚汁と甘酒のパーティーです。材料を持ち寄り、野外で思いきり火を焚き、大鍋で煮込む。「おいしい！」と大人気で、話も弾んでいました。「公園に普通にある物で、こんなに楽しめるんだなあ」との声が印象的な、楽しいワークショップになりました。
(公園課 生亀)

ワーキンググループってなにしてるの？



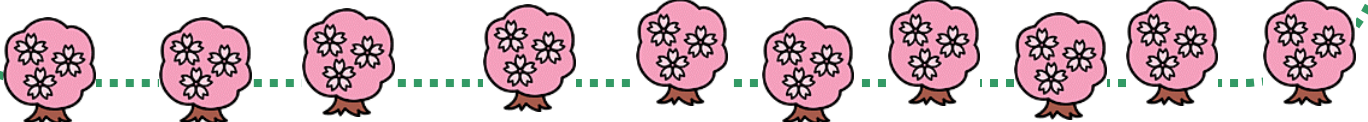
公園づくりのワーキンググループは2005年の10月に発足し

ました。現在、月に1回程度集まって、公園づくりについてさまざまなアイデアや知恵を出し合っています。楽しく、わきあいあいとした雰囲気です。ワーキンググループにはだれでも参加できます。地域のみなさんで一緒に楽しく公園をつくりませんか！



河川沿い道路桜並木整備ワーキンググループ 12名参加中

桜並木整備ワーキンググループは、ワークショップやニュースレターなどの呼び掛けで集まったメンバーで昨年秋に発足後、他市の桜並木の見学や桜の専門家講師の勉強会で知識をつけるなどのワーキング活動を行って植樹計画をつくりました。今回植樹する河津桜は、早咲きの桜で、オオシマザクラ系とカンヒザクラ系の自然交配種といわれており、伊豆河津町の河畔並木は有名な観光地となっています。伊豆では2月上旬～3月上旬の花期となっていますが、八王子では、もう少し開花が遅れるのではないのでしょうか。小田野中央公園では、既存のウメ、ソメイヨシノ、コブシなどと花期が違い、周辺でもあまり見られない河津桜で並木をつくり『四季折々の花を楽しめる公園』を目指して樹種を選びました。3月11日(土)には、公園づくりワークショップとして元木橋からゆうやけ橋まで40本の河津桜の植樹を行いますので、子供からお年寄りまでたくさんの方々の参加をお待ちしています。また、植樹後の桜管理として根元の除草や根元の踏つけ防止と修景を兼ねて植える草花の管理、病害虫の防除・施肥・剪定など植えてからが本当の桜並木を育てることになります。桜の名所となるよう自慢のできる公園に育てるには、多くの皆さんの参加が必要となります。是非、桜並木育成の活動にご参加を！
(桜並木整備ワーキンググループ リーダー 三浦、公園課 深沢)





こどもの遊び場づくりワーキンググループ 12名参加中

子どもの遊び場づくりを考えると、いろいろなことに話が及びます。今の公園はあれもこれも禁止で何もできない。そんな公園にはしたくないね。なるべく近隣の住民の方々に迷惑がかからず、自由に楽しく遊べる公園ができないかな。子供達の安全も心配。近所の人がいつも利用してくれていて誰かがいるような公園なら安心だね。大人が子どもをいつも見守れるように子どもの遊具の周りに大人がくつろげるベンチを置いたらいいんじゃないかな？遊具はなるべく子供達のアイデアを実現させたいね。遊具をみんなで手づくりすれば愛着もわくよね。でも手づくりだけじゃ物足りないかな。公園で遊んで怪我をしたら誰の責任？怪我は自分の責任にしないと自由に遊べないよね。危険なことを自分で判断できるようにいろいろ経験が必要だよ。ボール遊びができる場所のルールづくりはどうしよう。ボール遊びと球技の違いはなんなんだろう。みんな真剣に、楽しく公園づくりについて話しています。

今までこんなことをしました。

11月25日(金)元木小学校3年生が散策路作り

元木小学校3年生の児童72名が、総合学習の時間にこかげ広場(Gゾーン)に散策路をつくってくれました。4m幅に落葉を掃いて、歩くのに邪魔な石を拾って道の脇にきれいに並べ、約60mの散策路が1時間で完成しました。



1月28日(土)冒険遊び場視察

恩方中学校の生徒会の皆さん達と世田谷区の羽根木公園に「冒険遊び場(プレーパーク)」を視察に行ってきました。プレーリーダーという常駐の方がいて「自分の責任で自由に遊ぶ」というルールで子供達も大人も自由に遊んでいました。全て手づくりの遊具で、焚き火もできます。公園づくりのヒントがたくさん詰まった場所でした。

これからこんなことを予定しています

3月 公園のボール遊びルール作り

恩方中学校生徒会の皆さんが中心になって、芝生広場(Hゾーン)のボール遊びルールを考えてくれます。どんな遊び方ならご近所や他の公園利用者に迷惑がかからないかを、実際に遊んで実験するそうです。(こどもの遊び場づくりワーキンググループ 木住野、公園課 吉田)



シンボルづくりワーキンググループ 8名参加中

公園のシンボルづくりにあたっては、これまでに寄せられた意見、アンケート等をもとに公園から発信できるものはないか、地域の歴史や自然から公園づくりに生かせるものはないかなどについて過去4回の会合を持ち、次のような提案をしました。

Aゾーン(元木橋付近)にシンボルツリーを植える

公園のシンボルとなる樹については地域の自然史からヒントを得、かつて、北浅川に化石林が発見され話題になった「生きた化石」こと、メタセコイヤをトップに選びました。この樹は、新緑の芽吹きと紅葉が美しく、虫の害が少なく、成長も早く遠くからも良く目立つ樹です。地域の古代のロマンを想像でき、公園のシンボルにはふさわしい樹だと思います。

Cゾーン(水のみ場付近)に日時計を設置する

元木小学校3年生の児童が日時計を作ることを提案されました。日時計は、人の影を針として利用するもので、現在児童たちが授業においてそれぞれデザインを考えています。今後、提案されたデザインのなかから選定し、専門家の人が中心となって太陽の角度などについて技術指導することになっています。日時計は、維持管理に手間がかからず、環境にやさしく、なによりも次代を担う子供たちが公園作りに参画されたことを形に残すことに大きなメリットがあると思います。その他、シンボルとなる樹をいくつか選定し植樹する予定です。(シンボルづくりワーキンググループリーダー 菱山、公園課 藤澤)





市民と八王子市の協働による公園づくり 第5回ワークショップ

みんなであつくりろう！

小田野中央公園

みんなで河津桜の桜並木をつくろう

日時 2006年 3月11日(土) 10:00~12:30(小雨決行)

大雨の場合3/12(日)に順延します

集合場所小田野中央公園 水飲み場前(小田野会館がある入り口)(地図参照)

河津桜の植樹と柵づくり

桜の周りに花の苗植え

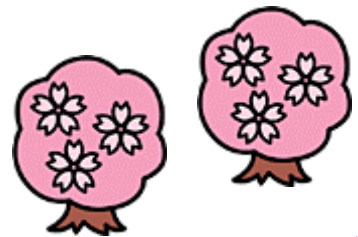
木のペンダントづくり

元木小学校3年生の夢の公園づくり模型展示

- ・事前の申し込みはいりません。
- ・参加者の方には、八王子市がボランティア保険に加入します。
- ・小さいお子様は保護者の方とご参加ください。
- ・駐車場はありません。徒歩でお越しください。
- ・汚れてもいい服装でお越しください。



集合場所 10:00
水のみ場前



~お知らせ~ 北浅川に降りられる階段護岸や、公園灯ができます。

現在、小田野中央公園沿いの浅川で、東京都が河川護岸の補修工事を行っています。フェンスの取替えや川へ降りられる階段護岸(幅10m)を整備しています。これにより、公園利用の楽しみが増えることとなりますが、増水時などには十分に注意をしましょう。

また、公園内では、河川道路沿いに公園灯と住宅側の植栽工事、小田野中央公園と下小田野公園を連結する工事も行っています。公園灯の設置や、桜の植樹に伴い一部の既存木を剪定・伐採します。剪定・伐採予定の木はテープが巻いてあります。工事作業中は安全管理に十分注意しておりますが、みなさまのご理解とご協力をお願い致します。

ワーキンググループに参加してくれる方を募集中

地域のみなさんで楽しく公園づくりをしませんか。みなさんのアイデアやお知恵をお待ちしています。参加を希望される方は、下記問い合わせ先にお気軽にお電話ください。

問合せ先
八王子市まちなみ整備部公園課 担当 深沢、藤澤 電話 0426-20-7270
小田野中央公園をつくる会事務局(八王子福祉園内) 芝 敏子 電話 0426-51-9410

【小田野中央公園をつくる会】の構成
会長 船引 孝昭(小田野連合町会長)
恩方地区町会自治会連合会
小田野連合町会
恩方地区住民協議会
ゆうやけの里・地域福祉フォーラム
八王子市
まちなみ整備部 公園課
市民活動推進部 協働推進課

